

(第 1 回 、 最 終) 契 約 変 更 の 内 容

契 約 変 更 年 月 日	令和6年9月27日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所 東京本社
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋浜町三丁目 2 1 番 1 号
業 務 の 名 称	R 5 霞ヶ浦導水事業効果検討業務
業 務 場 所	霞ヶ浦導水工事事務所管内
業 種 区 分	土木設計コンサルタント業務
業 務 概 要	1. 履行期間（延長） 2. 情報共有システム使用料（追加） 3. ブロックモデルによる水質予測評価（増）
履 行 期 間 （ 自 ）	令和6年3月28日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和7年2月28日
変 更 前 の 契 約 金 額	24, 992, 000円(税込)
変 更 金 額	+6, 138, 000円(税込)
変 更 後 の 契 約 金 額	31, 130, 000円(税込)
変 更 理 由	1. 履行期間 本業務は、令和6年3月27日に契約締結（履行期間：令和6年9月30日まで）し現在履行中である。 本業務は、霞ヶ浦導水事業における費用便益分析評価を実施するものである。また、導送水による霞ヶ浦・那珂川・利根川・桜川（千波湖）の水質変化を予測シミュレーションにより評価するものである。さらに、導送水の効果的・効率的運用方法を検討し、水質予測シミュレーションにより評価するものである。 霞ヶ浦の水質予測評価において、関係機関と協議を実施するうえで、当初予定していた導送水ケースに加え、新たに複数ケースの水質予測を実施する必要性が生じた。データのとりまとめ、関係機関協議の実施と併せ、本業務の履行期間を令和7年2月28日まで延伸するものとする。 2. 情報共有システム使用料 「土木工事・業務の情報共有システム活用ガイドライン」（令和5年3月版）の適用について（令和5年3月22日 国関整技管第252号）」に基づき、情報共有システムを活用する必要性が生じたため、本項目を追加する。 3. ブロックモデルによる水質予測評価 霞ヶ浦の水質予測評価において、関係機関と協議を実施するうえで、当初予定していた導送水ケースに加え、新たに複数ケースの水質予測を実施する必要性が生じたため、本項目を変更（増）する。